洋弓部規則

1．安全

2．礼儀

3．努力

4．誇り

目次

- 洋弓部規則・目次
- 50周年のあゆみ ……P1
- 射場のあゆみ ……P2
- 祝　辞 ……P3
- 戦　績 ……P11
- 写真集 ……P21
- 編集後記 ……P35

創部10周年記念誌

創部20周年記念誌

創部30周年記念誌

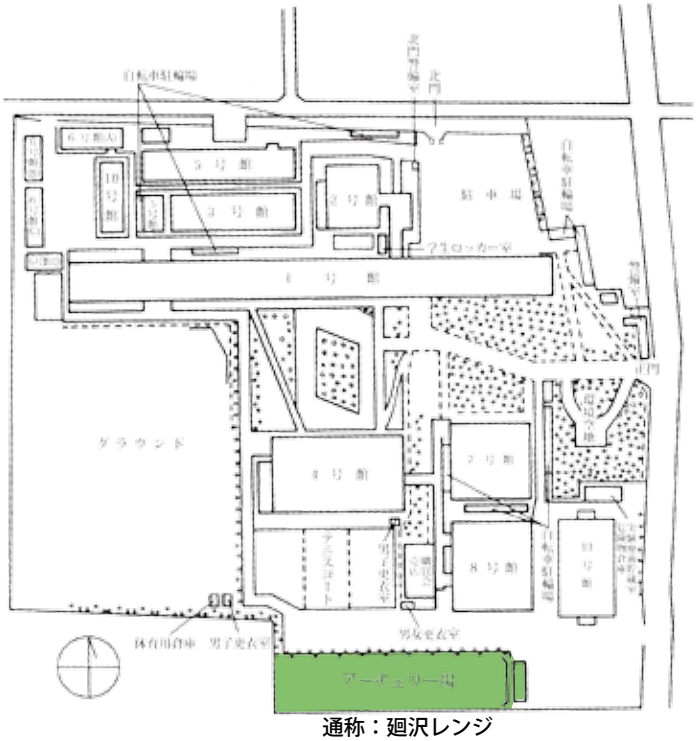
50 周年のあゆみ

1963(昭和38)年　アーチェリー愛好会創設
1965(昭和40)年　体育会に入会弓道同好会となる
1966(昭和41)年　部員数も増え、本格的に活動を始める
1967(昭和42)年　三校定期戦 (芝浦工業、明治学院) 始まる
関東学連準加盟を許可される
理工学部グラウンド射場敷地を確保、設備のない射場にて練習
洋弓同好会に改称
1968(昭和43)年　春、待望の射場完成
(三脚、畳使用)
関東学連 3 部リーグに正式加盟
リーグ戦出場
フォーミッション戦始まる
1969(昭和44)年　巻わら使用始まる
対東北学院大学定期戦始まる
1970(昭和45)年　対明治学院大学定期戦始まる
1973(昭和48)年　部昇格創部 10 周年記念
1974(昭和49)年　理工学部新射場完成
(旧設備危険につき取壊し)
1975(昭和50)年　長谷川博一初代コーチ、
『アーチェリー』(高橋書店) を監修出版
1977(昭和52)年　女子3 部リーグ戦準優勝 2 部昇格
射場にゲート移動用レール設置
1978(昭和53)年　男子4 部リーグ戦準優勝 3 部昇格
対東北学院大学総合定期戦にオープン参加
部則施行（11 月)
1979(昭和54)年　対東北学院大学総合定期戦公式参加
伊藤寿彦氏を技術アドバイザーとして迎える
1980(昭和55)年　女子2 部リーグ戦優勝 1 部昇格
1981(昭和56)年　男子4 部リーグ戦準優勝 3 部昇格
1982(昭和57)年　男子2 部 B プロックリーグ戦準優勝
1 部昇格
1983(昭和58)年　創部 20 周年
1984(昭和59)年　女子 1 部リーグ戦準優勝
1985(昭和60)年　男子 1 部 B プロックリーグ戦 3 位
女子 1 部リーグ戦準優勝
1986(昭和61)年　女子 1 部 B プロックリーグ戦準優勝
吉田浩和氏をコーチとして迎える
1987(昭和62)年　射場改装
1988(昭和63)年　女子 2 部 A ブロックリーグ戦優勝 1 部昇格
1990(平成 2)年　男子 3 部 B プロック
リーグ戦準優勝
2 部昇格
1991(平成 3)年　女子 1 部 B ブロック
リーグ戦 4 位
1992(平成 4)年　男子 2 部 B ブロック
リーグ戦準優勝
1 部昇格
1993(平成 5)年　創部 30 周年
1998(平成10)年　女子 1 部昇格
2003(平成15)年　相模原新射場完成
2011(平成23)年　女子 1 部昇格
2011(平成23)年　吉田浩和コーチ退任
木村正純氏（渋谷アーチェリー勤務）をコーチとして迎える
2013(平成25)年　創部 50 周年
2013(平成25)年　女子 1 部昇格

射場のあゆみ

世田谷(廻沢)キャンパス（1965 ～ 2003. 3）

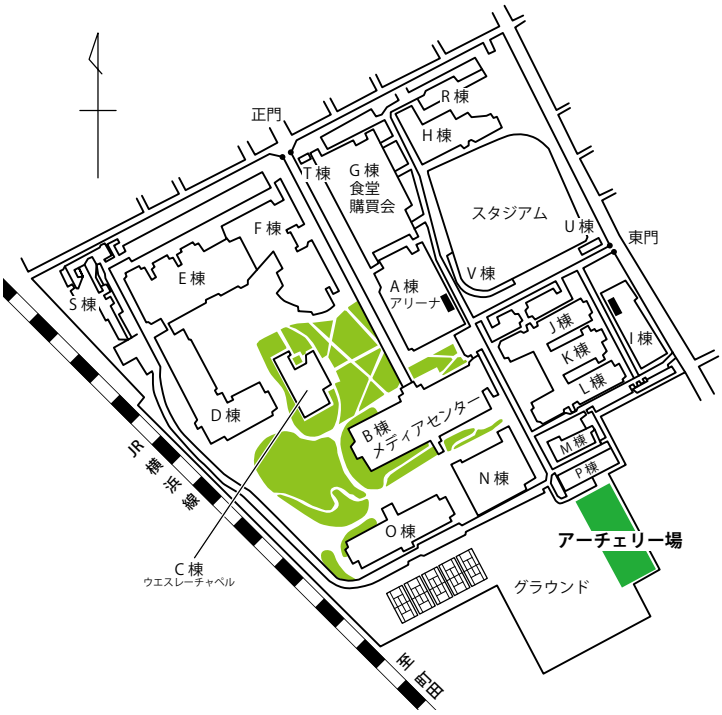
旧所在地：東京都世田谷区千歳台 6-16-1（現在は消滅）



通称：廻沢レンジ

相模原キャンパス（2003. 4 ～現在）

所在地：神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1



祝　辞

洋弓部部長としての思い出

部長　中澤　進一

体育会洋弓部創部 50 周年、誠に喜ばしく嬉しく思います。創部以来の部長であった高村雄治先生から洋弓部の部長を引き継いだとき、部にたいする高村先生の強い愛情をつくづく感じました。

相模原キャンパスの射場建設、これが私の最初の仕事でした。体育会のどこの部も新しい活動の場を作ろうと必死でしたから、いろいろな駆け引きがあって、大変苦労したことを覚えています。当初は殺風景だった射場も、大学当局の暖かい取り計らいによって今では設備も大分充実して参りました。

正直に言いますと、相模原キャンパスに新射場ができたとき、私は部活動の貧弱さに驚かされました。練習時間や部員数の少なさに加えて、体育会の部員としての心構えも怪しく、私は体育会の部として存亡の危機を感じたほどです。

しかし、それも今では昔話です。その後、部員たちはよく頑張りました。部員数は他の 体育会の部よりはるかに多くなりましたし、日常の報告を聞くたびに、精神的にも大分逞しくなったように思います。満足のゆく戦績にはまだ届いておりませんが、今後に期待できるところまで成長してきたことを感じております。洋弓部創部 50 周年を機に、男女とも 1 部に昇格して、大いに活躍してくれることを心より願っております。

創部 50 周年に寄せて

OB 会長　五十嵐　雅典

青山学院大学体育会洋弓部は、本年で創部５０周年を迎えることになりました。これも偏に学院、大学関係の皆様方、体育会並びにＯＢ・ＯＧ連合会、学連関係の皆様方はじめ、中澤部長先生、高村前部長先生、そして洋弓部ＯＢ・ＯＧの皆様方の暖かいご指導、ご支援、ご鞭撻の賜物と深く感謝致しております。そしてＯＢ会を永年に亘り主導し、５０周年に導いていただいた故浜島欣一名誉会長に感謝いたします。本記念誌をお借りして厚く御礼申し上げます。

東京オリンピックの前の年の昭和３８年、アーチェリー愛好会を創設し、それから５０年の年月の中には、アクシデントから射場撤去寸前までの窮地を自分たちで造ってしまったにもかかわらず、学校並びに関係者の方々のご理解とご厚意により乗り越えたこと、リーグ戦で昇格を果たし涙しながら歓喜したこと、力のなさを痛感し苦しくもがいたこと、中澤部長先生のご尽力と大学の絶大なるご支援により相模原キャンパス内に安全面に最大限の配慮がなされた新射場を建設していただいたこと、また、部員数が足りずにリーグ戦も記録会扱いとなり廃部の一歩手前まで至ったこと等々、各代のＯＢ・ＯＧの皆様方の胸中には色々な思い出があふれていることと思います。

そして今年、洋弓部は５０周年を迎えました。『今、我ら洋弓部はどこから来て、どこにいて、どこに行こうとしているのか』を見失うことがないように、4 年間共にアーチェリーに夢中になったＯＢ・ＯＧの方々と、

今、まさに頑張っている部員で一緒に考えたいと思います。若い部員の方々は、洋弓部専用射場で活動ができる背景には、そこに至るまでに多くの方々のご尽力やご支援があったこと、また今現在も変わらぬサポートがなされ続けていることを絶対に忘れず、日々お互いが切磋琢磨しながらレベルアップを図り、正々堂々と戦い、男女共に一部リーグで戦うことを目指してください。そして、アーチェリーを通じて、生涯の仲間作りと人間形成を育み、卒業後はスポーツマンの気概を持って社会人の一員として一緒に頑張りましょう。

創部からの一年一年を点とすると、５０の点が繋がり５０年の線になりました。この線をより太くし、これからも６０、７０、そして 100 年に向けて伸び続けることを期待しております。

創部 50 周年によせて

監督　水谷　喜和

洋弓部創部５０周年を迎えることとなりました。これもひとえに大学関係の皆様方をはじめ、部長先生、諸先輩の皆様方の暖かい御指導の賜物と深く感謝申し上げます。

我々の現役時代、男子は２年連続全敗にての降格という情けない戦績を残し、後輩の力を借りた最後の年は、２位にての入れ替え戦に出場するも、大差で敗れ目標の昇格は叶いませんでした。辛いこと、悲しいこと、情けないこと、悔しいことばかりでした。

完全燃焼できなくて、卒業後も現役諸君に刺激を与えることで、洋弓部が強くなればと思い、 アーチェリーを続けていました。念願かない初めて１部昇格を勝ち取ったときは現役諸君とともに感激に酔いしれました。渋谷東急プラザの前で胴上げされた事を今も覚えています。30 年ほどまえのことですが、この 40 年間で、一番うれしい日でした。

もちろん試合に勝つこと、良い点数を出すことがすべてではなく、それに向かって努力する事が部活動の意義であると思いますが、やはり男女とも１部で、リーグ戦を戦ってもらいたいものです。今とは違う景色が見えてくると思います。現役の皆さん、青学洋弓部部員の誇りを持ち、日々努力し、新しい時代を作り上げて行ってください。我々 OB、ＯＧはいつも応援しています。

創部 50 周年にあたり
現役のみなさんへ

コーチ　木村　正純
（渋谷アーチェリー勤務）

この度は、青山学院大学体育会洋弓部創部５０周年おめでとう御座います。私は２０１１年から洋弓部コーチを務めており、創部５０周年という節目の年に関われたことを、非常に光栄に思います。

さて、私はこのアーチェリーという競技を続けて既に２５年が経ちました。中学生の頃から今まで競技を続けてきて、本校にてコーチ就任となったのも何かの縁であると感じています。一つの事を長く続けると、色々な人と出会い、人脈が広がり、やがて自分にとってかけがえの無いものになると思います。私の場合アーチェリーがそれでした。今の現役の皆さんもこの洋弓部に入部し、アーチェリーという生涯スポー

ツに出会えたと思います。そして５０年という長い歴史の諸先輩方と繋がりを持つことができるのと同時に、脈々と受け継がれてきた先輩方の思いをさらに未来に向かって引き継いで行ってください。今までの先輩方も５０年そうしてきた積み重ねが今の青山学院大学体育会洋弓部であります。

このような伝統のあるクラブに所属し、アーチェリーと出会い、学生生活を勉学とアーチェリーと両立しながら行うのはとても大変なことではあると思いますが、その努力は決して無駄にはなりません。アーチェリーと勉学を精一杯、頑張ってそして素晴らしい学生生活の思い出になるようにしてください。それはあなたたちにとって将来、必ず大切な財産となります、頑張って行きましょう！

祝　辞

関東学生アーチェリー連盟第 55 代連盟委員長　杉本　紀明

関東学生アーチェリー連盟の連盟委員長を務めさせていただいております、杉本紀明です。日頃より、連盟の事業にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、青山学院大学体育会洋弓部が創部 50 周年を迎えられましたことを、連盟を代表しまして、心よりお祝い申し上げます。また、今年度の関東学生アーチェリーリーグ戦におきましては、女子チームが 1 部昇格を成し遂げましたことも、重ねてお祝い申し上げます。

貴部の今日に至るまでの 50 年間は、けっして平坦な道のりではなく、様々な困難があったことと思います。それをずっと支え続けてこられた多くの諸先輩方、並びに部員の団結力と努力によって乗り越え、現在の発展があると存じます。また、この発展は貴部にだけにとどまらず、学生アーチェリー界の発展においても大いに寄与されてきたことと思います。これからも同じ関東地区の学生アーチェリーを共に支えるものとして、互いに研鑽し合える関係でありたいと願っております。

最後になりましたが、青山学院大学体育会洋弓部の今後のますますのご発展とご活躍をお祈りいたしまして、祝辞とかえさせていただきます。

創部 50 周年に寄せて

明治学院大学体育会洋弓部主将　横内　秀幸

青山学院大学体育会洋弓部創部 50 周年おめでとうございます。現在に至るまで当部との交流を重ね、切磋琢磨し続けてきた青山学院大学体育会洋弓部の記念すべき時をお祝いできる事を光栄に思います。50 年といえば「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢幻のごとくなり」という敦盛の一節を桶狭間の戦いの最中、出陣の前に信長が舞ったという話が思い出されますが、大学の 4 年という人生からすれば瞬間に過ぎない時間にアーチェリーに全力を注ごうとした部員の一人一人が支えとなって半世紀という歴史を創り上げたのだと思います。人の人生に終わりはありますが、想いや願いは受け継がれて続いていくものです。これからも青山学院大学体育会洋弓部のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

青山学院大学体育会洋弓部様の創部 50 周年に寄せて

立教大学体育会洋弓部主将　渡邊　将伍

このたび青山学院大学体育会洋弓部様が創部 50 周年をお迎えになること、心よりお喜び申し上げます。

青山学院大学洋弓部様とはリーグ戦や練習試合を通じてたびたびお世話になっております。その中でも特に深いつながりがフォーミッション戦です。毎年 11 月の秋の終わりに行われるフォーミッションは肌寒くなっていく季節とは対照的に毎年熱い戦いが繰り広げられています。

50 年というと先輩方の経験や成果が実り、成熟した組織が完成してくる頃だと思います。しかし、そんな時だからこそ伝統だけに囚われるのではなく、新しいことに目を向けていくことが重要だと思います。そうすれば、次の 50 年さらに成熟した部へと発展していけることでしょう。これからもお互いを高め合うことが出来る仲間として、末永いお付き合いをよろしくお願いします。

最後となりましたが、青山学院大学洋弓部様が益々発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創部 50 周年を記念して

上智大学体育会洋弓部主将　橋本　健郎

上智大学洋弓部主将の橋本健郎です。

この度は、青山学院大学体育会洋弓部創部 50 周年おめでとうございます。

青山学院大学洋弓部様とは、学生連盟の主催する試合や毎年のリーグ戦に向けての練習試合で交流をする機会をいただいておりますが、それらの中で私にとって特に印象に深いのは、4mission です。明治学院大学洋弓部様、立教大学洋弓部様、そして青山学院大学洋弓部様と四校で、日頃の練習の成果を発揮しあい競いあいながら、交流を深めることのできる貴重な機会に毎年、私は特別な思いをもって臨んでおります。そうした試合の中で、青山学院大学洋弓部様に対して感じるのは、部としての一体感の強さと、アーチェリーを全力で楽しむという姿勢の強さです。楽しみながら、チームが一丸となって真剣にアーチェリーに取り組む、そうしたことを堅実に実践される部員の方々と同じ場でアーチェリーをすることで、私たち上智大学洋弓部も見習わなければと気の引き締まる思いで、たいへんよい刺激を受けております。今後も変わらぬ、他の模範となるような青山学院大学洋弓部様と、変わらず交流を深め、楽しみながら競いあえることを願っております。

青山学院大学洋弓部様の今までのご功績に敬意を表すとともに、今後のさらなるご繁栄をお祈りいたします。

祝　辞

東北学院大学体育会洋弓部主将　山田　卓（たく）

青山学院大学体育会洋弓部創部 50 周年お慶び申し上げます。

青山学院大学様との毎年恒例の定期戦も今年度で 64 回目となりました。一年に一度しかないこの交流戦を私達は毎年楽しみにしており、今では何よりも捨てがたい我が大学の一大イベントとなっています。この定期戦にかける思いはとても強く、毎年大会前には定期戦大会の為の強化練習を行う程です。

またそこから得るモノも多くありました。

お互いの大学へ一年毎に交互に赴く事で、自分にとっていつもとは違う環境での戦いとなる為に、いつも以上の経験や緊張感、楽しさなども感じ、学ばせて頂いております。

また、その他にも様々なイベントの企画、運営をする事でそれを通した人間関係の構築などもこの定期戦から得られるモノの一つであります。

青山学院大学様には、様々な所で沢山のご支援やご指導を頂き、また多くのご迷惑もお掛けしております。しかしながら、今後ともこのとても良い交流が、途絶える事のない様に従来にも増して精進致す所存でございますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら青山学院大学様の益々のご発展と御活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

創部 50 周年に寄せて

青山学院大学体育会洋弓部第 35 代主将　加藤　周（しゅう）

洋弓部５０周年おめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。

考えてみれば私が洋弓部員として過ごした時間はたったの４年しかないのですが、本当に沢山の思い出があります。厚木キャンパスで受けた勧誘、世田谷キャンパスの射場の遅咲きの桜。間違えて正座したウォッチ（今でもあるのでしょうか？）。巨大なブルーシート。重たいケース。寒かった冬の雨。春合宿のマラソン。強風のリーグ戦。理工学部でキャンパス内に射場があるのを良い事に、ひたすら練習に明け暮れた毎日。これらの、学生時代にしか、そして部活動でしか経験できなかった思い出は、先輩方が築き上げてこられた洋弓部があったからこそ経験できたと思います。それからもう１０年以上経ち、私が通っていたキャンパスはもう無くなってしまいましたが今なお後輩の皆さんが洋弓部を受け継ぎ、堂々と５０周年を迎えられたという事をとても嬉しく思っています。

半世紀もの洋弓部の歴史の流れに参加させていただけたことを皆さんに感謝するとともに、今後いつまでも洋弓部が続いて行くようお祈りしつつ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞

青山学院大学体育会洋弓部第 41 代主将　長友　信

洋弓部創部 50 周年を心よりお祝い申し上げます。

過去の創部記念誌を見ますと、10・20・30 周年誌はあるものの、40 周年が欠落しています。私はちょうどその時期に現役だった者ですが、実はこの頃の洋弓部は、部内の不和に加え新入部員の減少が続き、運営そのものが危ぶまれる状態だったのです。学連リーグ戦は愚か他校との練習試合も満足に出来ない状況で、モチベーションも上がらず戦績は下がる一方で、正直、廃部もありうる状況でした。残念ながらこれらの渦中にあって 40 周年を祝う機運を逃してしまったのです。

そんな部に救いの手を差し伸べてくださったのは OB・OG の皆様でした。OB 会の活動を活発化させ、現役との交流を強化し、運営に窮していた部を様々な面でサポートしてくださり、そのおかげで、部員数はＶ字回復を見せ、成績も回復していきました。この度無事に創部 50 周年を迎えられたのは、OB 会の方々の手厚い支援と現役部員たちの部を存続させようとする地道な努力があってのことだと感じています。

私が主将だった時は、Ｖの字のどん底に位置し、成績も満足に残せず、ただ運営をどうにかこなすことに必死でした。主将としての至らなさが部の衰退を招いたことは否めませんが、ギリギリで部を存続させることができたのは、自分も多少は部のために役に立てたということなのかもしれません。

今後も部の益々の躍進と、安定した維持・運営をお祈りし、OB として見守っていきたいと思います。

創部 50 周年を迎えて

青山学院大学体育会洋弓部第 50 代主将　長澤　寛俊

我が青山学院大学体育会洋弓部は、創部 50 周年を迎えました。一口に 50 年といいましても、この 50 年という歴史を築き上げたのは、創部から現在に至るまで、諸先輩方を初め、数多くの人々の尽力の賜物であると思います。長い歴史の中で、決して楽な経験ばかりではなく苦しい経験、また、試合で悔しい経験もされたことと思います。部の存続には、このような部の歴史の積み重ねを現役が自覚し、後輩達にしっかり伝えていかなければなりません。

近況といたしましては、2013 年度リーグ戦において、男子は３部残留でしたが、女子が１部に返り咲きました。道具の性能や他大学の技術力が向上している中でのこの結果は、各個人がそれぞれ目標をもち、より高い意識を持ってアーチェリーに向き合ってきた成果の表れであります。

来年の目標は、男子は２部昇格、女子は１部上位確保であります。この目標を達成し、部としてさらに成長していくために、今後も質の高い練習を行い、技術を高めていけたらと思います。

この 50 周年という節目は、各個人がアーチェリーという競技に対する姿勢を再確認する良い機会であります。諸先輩方が築き上げてこられたこれまでの伝統を引き継ぎつつ、現役部員がまた新しい風を吹き込むことで、この 50 年に関わった全ての方々の気持ちを乗せて、これからも洋弓部を大いに飛躍させていかなければならないと思います。

50 周年を迎えるにあたって

青山学院大学体育会洋弓部女子リーダー　上野　瑠里子

今年で青山学院大学体育会洋弓部は創部 50 周年を迎えました。今年度のリーグ戦では女子は見事 1 部昇格を勝ち取ることができました。これも選手各々の努力、そして選手たちを支え、応援した全部員の活躍の賜物であると感じております。

来年度のリーグ戦は、男子は 2 部昇格、女子は 1 部上位確保を目標として戦っていきます。今年度よりも更に厳しい戦いになることが予想されますのでその中で勝ち抜いていくためにも、今後は一層の練習と、部員同士の連帯意識、仲間意識を高めていきたいと思います。アーチェリーは個人競技ではありますが、精神面では仲間、友人との支え合いが非常に重要なスポーツです。ですから私たちは、技術はもとより、この仲間との「連帯」も強く磨いていかねばならないと感じております。

最後に、私たちが創部 50 周年という記念すべき年を迎えるにあたって、諸先輩方が築いて来られた伝統と誇り、歴史を現役部員もしっかりと噛み締め、胸に刻んで行きたいと思っております。そして 50 年間という長い年月の間、一度も絶えることなく受け継がれてきたこの伝統を、後輩たちに伝えていきたいと強く感じました。

戦　績

Record

リーグ戦

1968（昭和 43）年

男子３部２位
○本学 3755　3736 拓大
○本学 3971　3831 玉川
●本学 3881　4258 芝工
○本学 3680　3667 一橋
●本学 3727　4049 専修

女子２部３位
○本学 2247　2049 立教
○本学 2271　2251 明学
●本学 2285　2443 日本女子
○本学 2190　1885 玉川
順位決定戦
日本女子 2490　玉川 2380
本学　2361

1969（昭和 44）年

男子３部６位
●本学 3998　4079 拓大
●本学 4076　4099 明学
●本学 3919　3982 専修
●本学 3810　3941 東教
○本学 3883　3844 玉川
順位決定戦
東教 4138　本学 4050
３部４部入替戦
相工 4108　本学 3841
入替戦の結果４部転落

女子２部優勝
○本学 2362　2293 玉川
○本学 2358　2149 明学
○本学 2428　2092 上智
○本学 2347　1871 立教
１部２部入替戦
本学 1982　日本女子 1850
入替戦の結果１部昇格

1970（昭和 45）年

男子　４部３位
●本学 4203　4244 工学院
○本学 3757　3594 一橋
●本学 4189　4253 武蔵
○本学 4186　3877 法政

女子１部６位
●本学 1988　2446 成城
●本学 1896　2490 学習院
●本学 2094　2191 日本女子
●本学 2044　2504 日本体育
●本学 1891　2389 成蹊
入替戦の結果２部転落

1971（昭和 46）年

男子４部２位
●本学 4095　4106 武蔵
○本学 3829　3344 東教
○本学 4081　3859 法政
○本学 3975　3734 一橋

女子２部６位
●本学 2055　2161 立正女子
●本学 1763　1909 立教
●本学 1648　1917 明学
●本学 2085　2171 明治
○本学 2081　2080 上智

1972（昭和 47）年

男子４部 B ブロック優勝
○本学 4074　4005 亜細亜
○本学 4265　4079 法政
３部４部入替戦
○本学 4316　明星 4213
○工学院 4040 武蔵 3855
入替戦の結果３部昇格

女子２部２位
●本学 2217　2482　成城
○本学 2454　2249　明治
○本学 2440　2223　上智
○本学 2316　2169　立教
○本学 2480　1831　明学

1973（昭和 48）年

男子３部優勝
○本学 3630　3530 専修
●本学 4142　4233 東京農業
○本学 4211　4124 明星
○本学 4337　4334 玉川
○本学 4470　4165 立教
順位決定戦
本学 4329　玉川 4108
２部３部入替戦
本学 4397　明学 4216
玉川 4164　成蹊 4004
入替戦の結果２部昇格

女子２部２位
●本学 2248　2262 明学
○本学 2412　1810 明治
○本学 2288　2181 立教
○本学 2342　2099 上智
○本学 2279　2160 玉川
１部２部入替戦
日本女子 2397　本学 2322
明　学 2316　成蹊 1910
入替戦の結果１部昇格

1974（昭和 49）年

男子２部４位
○本学 4292　3910 拓大
○本学 4117　3941 明学
●本学 3957　4017 明治
●本学 4208　4536 日本体育
●本学 4291　4420 学習院

女子１部６位
●本学 2104　2420 日本体育
●本学 2226　2567 学習院
●本学 1825　2018 成城
●本学 2108　2294 立正女子
●本学 2310　2450 日本女子
１部２部入替戦
玉川 2478　早稲田 2451
立正女子 2369　本学 2123
入替戦の結果２部転落

1975（昭和 50 ）年

男子２部６位
●本学 3657　4165 学習院
●本学 4152　4449 明治
●本学 4129　4290 相模工
●本学 4119　4654 東京農業
●本学 4340　4348 駒沢
２部３部入替戦
東京理科 4370　学習院 4212
拓大　4198　本学　3959
入替戦の結果３部転落

女子２部４位
○本学 2098　2082 専修
●本学 2181　2393 上智
●本学 2294　2608 明学
○本学 2285　2203 明星
●本学 2138　2371立正女子

1976（昭和 51）年

男子３部６位
●本学 4048　4535 日大
●本学 4062　4167 亜細亜
●本学 4087　4463 明学
●本学 4237　4366 成蹊
●本学 4248　4275 拓大
３部４部入替戦
神大 4380　工学院大 4317
成蹊 4117　本学　3950
入替戦の結果４部転落

女子２部５位
○本学 2296　2226 上智
●本学 2212　2566 文教
●本学 2251　2703 早稲田
●本学 2046　2574 成蹊
●本学 2007　2214 慶應
２部３部入替戦の結果
３部転落

1977（昭和 52）年

男子４部２位
○本学 4492　4470 法政
●本学 4150　4163 成蹊
○本学 4311　4036 玉川
○本学 4503　4473 武蔵
○本学 4385　4046 一橋
順位決定戦
法政 4566　本学 4351
３部４部入替戦
法政 4287　相模工 4279
工学院 4009　本学 3953
入替戦の結果４部残留

女子３部優勝
○本学 2423　2420 上智
○本学 2766　2466 立教
○本学 2577　2484 明治
○本学 2616　2498 武蔵
○本学 2552　2336 専修
２部３部入替戦
本学　2302　上智 2281
日本女子 2222　慶應棄権
入替戦の結果　２部昇格

1978（昭和 53）年

男子４部２位
○本学 4718　4651 明星
○本学 4668　4245 玉川
○本学 4437　4285 成蹊
○本学 4624　4501 筑波
●本学 4602　4618 工学院
３部４部入替戦
工学院 4656　本学 4597
拓殖　4337　駒沢 4178
入替戦の結果３部昇格

女子２部５位
●本学 2597　2707 成蹊
●本学 2676　2709 学習院
○本学 2576　2086 上智
●本学 2643　2655 明学
●本学 2651　2731 東京農業
２部３部入替戦
武　蔵 2676　本学 2597
亜細亜 2432　上智 2385
入替戦の結果２部残留

1979（昭和 54）年

男子３部優勝
○本学 4705　4705 神大
○本学 4588　4576 成城
○本学 4615　4535 工学院
○本学 4566　4523 相模工
○本学 4663　4499 学習院
２部３部入替戦
成城 4658　芝工 4578
明学 4454　本学 4421
入替戦の結果３部残留

女子　２部３位
○本学 2786　2680 成城
○本学 2273　2239 立教
●本学 2594　2702 武蔵
●本学 2568　2657 明学
○本学 2682　2660 成蹊

1980（昭和 55）年

男子　３部５位
●本学 4532　4751 玉川
●本学 4437　4466 神大
○本学 3056　3031 工学院
○本学 4489　4473 明星
●本学 4197　4420 明学
３部４部入替戦
学習院 4677　筑波 4627
明　星 4475　本学 4467
入替戦の結果４部転落

女子２部優勝
○本学 2330　1936 成蹊
○本学 2745　2690 亜細亜
○本学 2588　2398 東京農業
○本学 2844　2682 早稲田
○本学 2909　2906 慶應
１部２部入替戦
本学 2833　慶應 2753
武蔵 2623　明星 2590
入替戦の結果１部昇格

1981（昭和 56）年

男子４部２位
○本学 4684　4576 成蹊
○本学 4744　4378 千葉商科
○本学 4560　4013 相模工
●本学 4607　4616 一橋
○本学 4509　4406 明星
３部４部入替戦
本学 4276　一　橋 4154
芝工 4118　学習院 4116
入替戦の結果３部昇格

女子１部４位
●本学 2790　2906 日本体育
●本学 2717　2752 学習院
●本学 2731　2752 慶應
○本学 2702　2675 玉川
○本学 2814　2733 明学

1982（昭和 57）年

男子２部Ｂブロック２位
●本学 4567　4575 芝工
○本学 4499　4446 駒沢
○本学 4650　4508 東京理科
○本学 4736　4641 成城
○本学 4675　4390 明星
１部２部入替戦
成　蹊 4643　本学 4606
亜細亜 4587　日大 4545
入替戦の結果１部昇格

女子１部３位
●本学 2440　2772 学習院
○本学 2826　2722 慶應
●本学 2792　2844 日本体育
●本学 2720　2741 明学
○本学 2865　2802 早稲田
順位決定戦
本学 2843　慶應 2812

1983（昭和 58）年

男子１部Ａブロック６位
○本学 4687　4643 日本体育
●本学 4681　4728 東京農業
●本学 4708　4754 一橋
●本学 4197　4852 明学
●本学 4793　4820 早稲田
１部２部入替戦
拓殖 4672　本学 4596
専修 4569　成蹊 4545
入替戦の結果１部残留

女子１部４位
○本学 2837　2744 慶應
○本学 2581　2516 筑波
●本学 2803　2918 日本体育
●本学 2852　2929 学習院
●本学 2782　2905 成蹊

1984（昭和 59）年

男子１部６位
●本学－　－日本体育
●本学－　－慶應
●本学－　－駒沢
●本学－　－東京農業
●本学－　－玉川
１部２部入替戦の結果
１部残留

女子　１部準優勝
○本学－　－成蹊
○本学－　－学習院
●本学－　－日本体育
○本学－　－明学
○本学－　－東海

（点数データなし）

1985（昭和 60）年

男子 1 部 3 位
●本学 4817　4821 慶應
●本学 4779　4863 日本体育
○本学 4796　4600 東京理科
○本学 4791　4451 玉川
○本学 4352　－　駒沢

女子 1 部準優勝
○本学－　－玉川
○本学－　－成蹊
○本学－　－学習院
○本学－　－明治
●本学－　－日本体育

1986（昭和 61）年

男子 1 部 B ブロック 4 位
○本学 4290　3956 東京理科
○本学 4681　4619 日大
●本学 4553　4681 学習院
●本学 4469　4584 拓大
●本学 4517　4832 一橋

女子 1 部 B ブロック準優勝
●本学 2669　2773 学習院
○本学 2757　2633 玉川
○本学 2688　2638 慶應
○本学 2789　2701 明学
○本学 2569　2406 明星

1987（昭和 62）年

男子 1 部 5 位
●本学 4387　4655 成城
●本学 4261　4534 玉川
○本学 4247　3850 立正
●本学 4333　4771 明治
●本学 4203　4642 中央
1 部 2 部入替戦
東洋 4469　明学 4418
本学 4262　駒沢 4525
入替戦の結果 2 部転落

女子 1 部 5 位
●本学 2782　2785 学習院
●本学 2590　2685 東海
●本学 2563　2584 東京農業
●本学 2698　2721 明治
○本学 2626　2598 一橋
順位決定戦
本学 2814　一橋 2715
1 部 2 部入替戦の結果
2 部転落

1988（昭和 63）年

男子 2 部 6 位
●本学 4296　4387 明星
●本学 4144　4407 桜美林
●本学 4199　4498 芝工
○本学 4647　4503 武蔵工
●本学 4139　4575 立正
2 部 3 部入替戦
筑波　4520　中央 4462
東京国際 4436　本学 4414
入替戦の結果 3 部転落

女子 2 部 A ブロック優勝
○本学 2817　2629 桜美林
○本学 2830　2817 成城
○本学 2441　2354 日本女子
○本学 2760　2728 獨協
○本学 2584　2553 筑波
1 部 2 部入替戦
本学 2757　東京農業 2735
入替戦の結果　1 部昇格

1989（平成元）年

男子 3 部 A ブロック準優勝
●本学 4503　4647 武蔵工業
○本学 4387　4296 明星
○本学 4407　4144 桜美林
○本学 4498　4199 芝工
○本学 4575　4139 立正
2 部 3 部入替戦
東京国際 4436　中央 4462
本学　4414　筑波 4520
入替戦の結果 3 部残留

女子　1 部 B ブロック 6 位
●本学 2653　2870 日大
●本学 2523　2637 成城
●本学 2651　2748 慶應
○本学 2650　2566 明治
●本学 2753　2849 玉川
順位決定戦
明学 2664　本学 2438
1 部 2 部入替戦
東京農業 2070　本学 2660
学習院 2648　武蔵 2814
入替戦の結果 1 部残留

1990（平成 2）年

男子 3 部 B ブロック準優勝
●本学 4454　4733 湘商工科
○本学 4483　4117 桜美林
○本学 4513　4484 明星
○本学 4510　4402 東京電機
○本学 4418　4299 駒沢
2 部 3 部入替戦
東京理科 4633　本学 4584
一橋 4562　千葉商科 4529
入替戦の結果 2 部昇格

女子 1 部 B ブロック 6 位
●本学 2597　2739 日本体育
●本学 2806　2851 成蹊
●本学 2880　2891 武蔵
●本学 2772　2841 成城
●本学 2934　2943 玉川
1 部 2 部入替戦
学習院 2966　本学　2939
中央　2815　日本女子 2612
入替戦の結果 1 部残留

1991（平成 3）年

男子 2 部 A ブロック 3 位
●本学 4571　4757 成践
●本学 4651　4879 帝京
●本学 4495　4556 筑波
○本学 4485　4434 東京農業
○本学 4590　4519 東京理科
順位決定戦
本学 4634　筑波 4605

女子 1 部 B ブロック 4 位
●本学 2670　2987 日本体育
●本学 2858　2914 学習院
●本学 2868　2883 東洋
○本学 2865　2839 文教
●本学 2904　2948 慶應
順位決定戦
本学 2957(H I T 数差)
文教 2957
慶應 2919

1992（平成 4）年

男子 2 部 B ブロック準優勝
○本学 4628　4532 筑波
●本学 4647　4654 一橋
●本学 4748　4824 東洋
○本学 4703　4647 明治
○本学 4730　4587 明星
順位決定戦
本学 4461　明星 4252
一橋 4213
1 部 2 部入替戦
日大 4726　本学 4657
専修 4653　東海 4540
入替戦の結果 1 部昇格

女子 1 部 A ブロック 6 位
●本学 2442　2781 東洋
●本学 2529　2658 学習院
●本学 2530　2971 日本体育
●本学 2767　2840 文教
●本学 2708　2933 東海
1 部 2 部入替戦
立教 2839　明　星 2697
本学 2661　大東文化 2601
入替戦の結果　2 部転落

1993（平成 5）年

男子 1 部 B ブロック 5 位
●本学 4797　4966 拓大
●本学 4683　4977 早稲田
●本学 4671　4720 中央
○本学 4570　4488 成接
●本学 4723　4744 成城
1 部 2 部入替戦
東海 4851　本学 4729
専修 4673　日大 4656
入替戦の結果 1 部残留

女子 2 部 B ブロック 5 位
●本学 2459　2763 湘南工科
○本学 2746　2648 日本女子
●本学 2638　2683 日大
●本学 2628　2826 成城
●本学 2656　2819 東京農業
2 部 3 部入替戦
立教 2839　明星 2697
本学 2661　大東文化 2601
入替戦の結果 3 部転落

1994 年～ 1998 年

データなし

1999（平成 11）年

男子３部Ｂブロック３位

●本学 3558　3738 東京国際
○本学 3515　3456 東京農業
○本学 3559　3503 上智
○本学 3584　3347 神奈川
●本学 3460　3469 東京電機

３部残留

女子１部Ａブロック２位

○本学 2317　2234 上智
○本学 2329　1958 東京農業
○本学 2378　2219 東京
●本学 2345　2401 拓殖
○本学 2413　2384 学習院

１部残留

2000（平成 12）年

男子２部Ａブロック４位

●本学 3529　3706 中央
●本学 3369　3437 成城
●本学 3412　3632 上智
○本学 3387　3371 明治学院
●本学 3414　3473 城西

３部降格

女子１部Ａブロック２位

●本学 2294　2491 日本体育
○本学 2306　2171 上智
○本学 2253　2172 学習院
○本学 2313　2238 慶應義塾
○本学 2341　2239 東洋

１部残留

2001（平成 13）年

男子３部Ｂブロック優勝

○本学 3363　3210 神奈川工科
○本学 3413　3359 立正
○本学 3456　3289 獨協
●本学 3163　3320 成蹊
本学 3462　（記録会）

順位決定戦

本学 3522　立正 3426　成蹊 3392

入替戦

本学 3312　法政 3301　筑波 3276

２部昇格

女子１部Ｂブロック５位

○本学 2306　2061 東海
●本学 2178　2209 学習院
●本学 2171　2207 上智
●本学 2156　2330 中央
●本学 2237　2347 拓殖

入替戦

立教 2181　2132 明治
玉川 2231　2119 本学

２部降格

2002 年～ 2006 年

データなし

2007（平成 19）年

男子４部Ｂブロック２位

●本学 3415　3450 東京農工
○本学 2866　2662 筑波
○本学 3123　2228 湘南工科

入替戦

本学　3232
東京工芸　2981
帝京　3304

３部昇格

女子２部Ｂブロック６位

●本学 1956　2365 早稲田
●本学 1881　2118 東洋
●本学 2127　2236 明治
●本学 1717　2072 東京工芸
●本学 1916　2170 駒沢

入替戦

本学　2084
東京農業　2052

３部降格

2009（平成 21）年

男子２部Ａブロック５位

○本学 3542　3510 東洋
●本学 3612　3652 学習院
○本学 3624　3481 日本
●本学 3626　3675 明治学院
●本学 3393　3410 一橋

順位決定戦

本学 3554　3687 明治学院

女子２部Ｂブロック５位

●本学 2120　2373 東京農業
●本学 2056　2337 東京理科
●本学 2135　2383 立教
●本学 2189　2304 成城
本学 2009　（記録会）

2010（平成 22）年

男子２部Ｂブロック

●本学 3438　3596 東洋
○本学 3484　3371 芝浦工業
●本学 3538　3742 立教
●本学 3462　3631 東京
●本学 3432　3710 一橋

入替戦

本学 3490
法政 3476
東京電機 3448
電気通信 3398

２部残留

女子２部Ｂブロック

●本学 2169　2296 明治
●本学 2246　2334 上智
●本学 2332　2527 東海
○本学 2300　2049 駒澤
●本学 2305　2336 成城

入替戦

本学 2238
玉川 2140
東京電機 1961

２部残留

2011（平成 23）年

男子２部Ｂブロック５位

●本学 3552　3609 東京理科
●本学 3588　3668 明治学院
●本学 3396　3569 上智
○本学 3507　3434 玉川
○本学 3576　3470 帝京

女子２部Ｂブロック準優勝

○本学 2201　2127 東京農業
○本学 2320　2212 法政
○本学 2367　2335 東洋
○本学 2293　2187 成城
●本学 2420　2462 専修

入替戦

本学 2392　学習院 2357
一橋 2330　立教 2468

１部昇格

2012（平成 24）年

男子２部Ｂブロック６位

●本学 3470　3799 早稲田
●本学 3398　3652 東京
●本学 3514　3599 立教
●本学 3520　3566 法政
●本学 3544　3611 神奈川

入替戦

本学　3573
東京電機 3680
芝浦工業 3597
東京国際 3564

３部降格

女子１部Ａブロック６位

○本学 2274　2237 明治学院
●本学 2231　2477 早稲田
●本学 2309　2356 専修
●本学 2322　2488 慶應義塾
●本学 2301　2435 明治

入替戦

本学 2289
拓殖 2378
東京理科 2311

２部降格

2013（平成 25）年

男子３部Ａブロック

●本学 3468　3618 駒澤
●本学 3342　3477 帝京
○本学 3241　3213 立正
●本学 3438　3469 電気通信
●本学 3479　3673 日本

入替戦　相手校棄権

３部残留

女子２部Ａブロック優勝

○本学 2387　2283 東京農業
○本学 2306　2143 神奈川
○本学 2398　2371 成城
○本学 2359　2267 一橋
○本学 2381　2277 東京国際

入替戦

本学　2377　学習院 2412
東京理科 2305　専修　2121

１部昇格

個人戦

1966（昭和 41）年

本選　浜島　869 点　56 位
　　岩佐　621 点　138 位
インカレ　浜島　出場

1967（昭和 42）年

不明

1968（昭和 43）年

本選　宮坂　935 点　48 位
　　三宅　756 点　20 位
　　増田　706 点　28 位

1969（昭和 44）年

インカレ　長谷川　937 点
　　瀬口 1014 点
　　畑　936 点
全日　瀬口出場

1970（昭和 45）年

本選　長谷川・瀬口・斎藤出場
インカレ　瀬口 1049 点

1971（昭和 46）年

不明

1972（昭和 47）年

本選　大久保　7 位
　　春田　10 位
　　高橋　30 位
インカレ　大久保・春田・高橋出場

1973（昭和 48）年

本選　平川・塚本・石井・春田
　　清水・松田・森田・小沢出場

1974（昭和 49）年

本選　五十嵐・小沢出場

1975（昭和 50）年

不明

1976（昭和 51）年

不明

1977（昭和 52）年

本選　熊谷　977 点
　　水谷 1075 点
　　三浦 1082 点
　　古川　988 点
　　金沢 1097 点
　　堀江 1042 点
インカレ　三浦 2169 点
　　金沢 2130 点

1978（昭和 53）年

不明

1979（昭和 54）年

本選　結城 1088 点
　　石川 1074 点
　　古川 1024 点
インカレ　石川 1111 点　32 位
　　結城 1077 点　46 位

1980（昭和 55）年

本選　尾崎　949 点
　　高野　941 点
　　仁藤 1133 点　2 位
　　鈴木 1113 点　3 位
　　白石 1057 点　15 位
インカレ　仁藤 2275 点　3 位

1981（昭和 56）年

本戦　田中 1014 点
　　伊藤　973 点
　　木佐木　888 点
　　白石 1022 点
　　関本　998 点
　　川浦　960 点

1982（昭和 57）年

本選　吉田 1200 点　3 位
　　木佐木 1110 点　34 位
　　内藤 1061 点　66 位
　　原　1181 点　優勝
インカレ　吉田 2263 点　43 位
　　原　2263 点　5 位
全日　吉田・原　出場

1983（昭和 58）年

本選　吉田 1232 点　3 位
　　木佐木 1195 点　13 位
　　石川 1146 点　35 位
　　西部 1138 点　14 位
　吉田・木佐木・石川 3573 点　男子団体 2 位
インカレ　木佐木 2371 点　5 位
　　吉田 2260 点　26 位
　　石川 2299 点　18 位
全日　木佐木・吉田出場

1984（昭和 59）年

本選　石川 1136 点　21 位
　　松田 1116 点　36 位
　　若尾 1091 点　56 位
　　奥平 1055 点　72 位
　　江連 1009 点　86 位
　　樫村 1169 点　5 位
　　西部 1161 点　6 位
　　大室 1129 点　9 位
　　長尾 1115 点　11 位
　　鈴木　926 点　37 位

樫村・西部・大室 3459 点　女子団体 2 位
インカレ　石川・松田・樫村・西部出場
松田　男子 10 位

1985（昭和 60）年

本選　石川・松田・江連・奥平
金井・川本・樫村・原出場
奥平 8 位
インカレ　石川・松田・奥平・原出場
全日　石川・奥平出場

1986（昭和 61）年

本選　奥平出場

1987（昭和 62）年

予選通過者なし

1988（昭和 63）年

不明

1989（平成元）年

本選　富士原 1127 点　40 位
長　1088 点　68 位
吉田 1016 点　91 位
石井　996 点　98 位
佐藤　944 点　105 位
石田　922 点　50 位

1990（平成 2）年

本選　富士原　895 点　103 位
石田 1045 点　31 位
吉岡　984 点　47 位

1991（平成 3）年

本選　塩田 1072 点　45 位

1992（平成 4）年

本選　西村 1104 点　70 位
澤田 1062 点　109 位
忠石 1060 点　112 位
塩田 1029 点　134 位
前山 1192 点　13 位
インカレ　前山 1164 点　25 位

1993（平成 5）年

本選　甲斐田 1101 点　86 位
白崎 1064 点　122 位
西村　480 点 (長距離のみ)
清水　950 点　99 位

1994(平成 6) 年～ 2006（平成 18）年

データなし

2007（平成 19）年

本選・男子　須川 1207 点　25 位
小泉 1015 点　114 位
本選・女子　山田 1024 点　74 位
中島　980 点　98 位
オールラウンド男子　須川 1104 点　31 位
小泉 1042 点　57 位
浅見 1041 点　58 位
オールラウンド女子　山田　921 点　31 位
インドア・男子　須川　541 点　39 位
小泉　511 点　84 位

2008（平成 20）年

データなし

2009（平成 21）年

本選・男子　三神 1084 点　86 位
水野 1074 点　89 位
角田 1035 点　91 位
本選・女子　佐々木 1011 点　88 位
藤田　997 点　90 位
三木　510 点　113 位
内海　504 点　115 位
オールラウンド男子　須川 1186 点　12 位
男子　角田 1005 点　61 位
石川　965 点　76 位
オールラウンド女子　内海　986 点　24 位
インドア・男子　須川　519 点　98 位
水野　486 点　174 位
立石　466 点　204 位
インドア・女子　中島　465 点　68 位
藤田　463 点　69 位
佐々木　458 点　74 位
内海　414 点　85 位

2010（平成 22）年

本選・男子　角田　991 点　89 位
本選・女子　長谷川 1042 点　78 位
KSAF カップ　長谷川　93 点　60 位
1 回戦敗退
オールラウンド男子　角田 1157 点　23 位
オールラウンド女子　佐々木 1065 点　18 位

2011（平成 23）年

本選・男子　出場なし
本選・女子　神田 1190 点　28 位
堤 1156 点　40 位
KSAF カップ・女子　神田点数不明　14 位
二回戦敗退
堤　初戦敗退
オールラウンド・男子　角田 1084 点　39 位

オールラウンド女子	藤江	1149 点	17 位
	佐々木	929 点	34 位
インドア・男子	角田	548 点	41 位
	佐藤	474 点	219 位
	中山	255 点	315 位
インドア・女子	神田	494 点	61 位
	佐々木	324 点	121 位
	高橋	279 点	125 位

2012（平成 24）年

本選・男子	吉井	1195 点	
本選・女子	神田	1227 点	
	堤	1130 点	
	藤江	1088 点	
	吉井・神田・堤が KSAF カップ出場		
	吉井がインカレ出場		
KSAF カップ・男子	吉井	15 位	2 回戦敗退
KSAF カップ・女子	神田	8 位	3 回戦敗退
	堤	21 位	1 回戦敗退
インカレターゲット	吉井	1196 点	59 位

東北学院大学定期戦

1969(昭和44)年	●本学	4434	4551	東北学院
1970(昭和45)年	不明			
1971(昭和46)年	不明			
1972(昭和47)年	○本学	4939	4895	東北学院
1973(昭和48)年	不明			
1974(昭和49)年	不明			
1975(昭和50)年	●本学	7319	7671	東北学院
1976(昭和51)年	●本学	6496	7597	東北学院
1977(昭和52)年	○本学	8112	7746	東北学院
1978(昭和53)年	●本学	4364	4434	東北学院
1979(昭和54)年	●本学	6946	7022	東北学院
1980(昭和55)年	不明			
1981(昭和56)年	○本学	4507	4429	東北学院
1982(昭和57)年	○本学	4549	4429	東北学院
1983(昭和58)年	○本学	4452	4377	東北学院
1984(昭和59)年	○本学	3387	3170	東北学院
1985(昭和60)年	○本学	4304	4215	東北学院
1986(昭和61)年	●本学	6286	6408	東北学院
1987(昭和62)年	●本学	6528	7076	東北学院
1988(昭和63)年	●本学	4114	4504	東北学院
1989(平成元)年	●本学	4218	4499	東北学院
1990(平成２)年	●本学	6924	7235	東北学院
1991(平成３)年	●本学	7099	7178	東北学院
1992(平成４)年	○本学	5548	5446	東北学院
1993(平成５)年	●本学	6549	6669	東北学院
（1994 年～ 2011 年までデータなし）				
2012(平成24)年	○本学	586.5	561.25	東北学院 (Ave.)
2013(平成25)年	●本学	3545	3670	東北学院

対明治学院大学定期戦

男子

1970(昭和45)年	●本学	4053	4203	明治学院
1971(昭和46)年	●本学	4121	4549	明治学院
1972(昭和47)年	●本学	4271	4331	明治学院
1973(昭和48)年	不明			
1974(昭和49)年	●本学	4016	4273	明治学院
1975(昭和50)年	○本学	4286	4188	明治学院
1976(昭和51)年	○本学	4390	4253	明治学院
1977(昭和52)年	○本学	4472	4397	明治学院
1978(昭和53)年	●本学	4625	4626	明治学院
1979(昭和54)年	●本学	4382	4456	明治学院
1980(昭和55)年	●本学	4008	4357	明治学院
1981(昭和56)年	○本学	4562	4557	明治学院
1982(昭和57)年	○本学	4580	4567	明治学院
1983(昭和58)年	●本学	4568	4725	明治学院
1984(昭和59)年	○本学	4632	4620	明治学院
1985(昭和60)年	○本学	4672	4486	明治学院
1986(昭和61)年	○本学	4559	4239	明治学院
1987(昭和62)年	●本学	4312	4486	明治学院
1988(昭和63)年	●本学	4444	4549	明治学院

女子

1970(昭和45)年	●本学	1845	2211	明治学院
1971(昭和46)年	●本学	2009	2023	明治学院
1972(昭和47)年	○本学	2469	2184	明治学院
1973(昭和48)年	不明			
1974(昭和49)年	●本学	2041	2215	明治学院
1975(昭和50)年	●本学	2334	2428	明治学院
1976(昭和51)年	○本学	2389	2202	明治学院
1977(昭和52)年	○本学	2695	2607	明治学院
1978(昭和53)年	○本学	2580	2480	明治学院
1979(昭和54)年	○本学	2747	2671	明治学院
1980(昭和55)年	●本学	2573	2595	明治学院
1981(昭和56)年	○本学	2722	2589	明治学院
1982(昭和57)年	●本学	2646	2670	明治学院
1983(昭和58)年	○本学	2835	2682	明治学院
1984(昭和59)年	○本学	2738	2646	明治学院
1985(昭和60)年	○本学	2696	2691	明治学院
1986(昭和61)年	●本学	2664	2936	明治学院
1987(昭和62)年	●本学	539	569	明治学院
1988(昭和63)年	不明			

三校定期戦

1965(昭40)年	明学 1161
	芝工 1103
	本学 1063
	(4人制、30mのみ)
1966(昭41)年	芝工 4024
	本学 3719
	明学 3492
1967(昭42)年	芝工 4004
	本学 3575
	明学 3381
1968(昭43)年	芝工 4235
	明学 3943
	本学 3861
1969(昭44)年	明学 4010
	本学 3948
	芝工 3893
1970(昭45)年	明学 4218
	芝工 4193
	本学 4180
1971(昭46)年	明学 4373
	芝工 4369
	本学 4309
1972(昭47)年	不明
1973(昭48)年	明学 4285
	本学 4123
	芝工 3946
1974(昭49)年	芝工 4250
	明学 4109
	本学 3881
1975(昭50)年	明学 4434
	芝工 4288
	本学 3995
1976(昭51)年	明学 4485
	芝工 4440
	本学 4408
1977(昭52)年	不明
1978(昭53)年	芝工 4726
	明学 4565
	本学 4524
1979(昭54)年	芝工 4406
	本学 4363
	明学 4318
1980(昭55)年	明学 4602
	本学 4330
	芝工 4291
1981(昭56)年	明学 4632
	本学 4546
	芝工 4357
1982(昭57)年	本学 4858
	明学 4844
	芝工 4560
1983(昭58)年	明学 4646
	本学 4641
	芝工 4513
1984(昭59)年	本学 4846
	芝工 4593
	明学 4534
1985(昭60)年	明学 4501
	本学 4470
	芝工 4464
1986(昭61)年	本学 4324
	明学 4274
	芝工 4252
1987(昭62)年	明学 4432
	芝工 4344
	本学 4161
1988(昭63)年	本学 4526
	芝工 4415
	明学 4401
1989(平元)年	明学 4537
	本学 4300
	芝工欠席
1990(平2)年	中止
1992(平3)年	本学 4625
	明学 4599
	芝工 4434

フィールドアーチェリー

1993(平5)年	関東	西村	Mark3 位 129 点
	インカレ	西村	15 位
2009(平21)年	関東・男子	須川	13 位 262 点 決勝 4 位
	関東・女子	内海	5 位 179 点 決勝 7 位
2012(平24)年	関東・男子	柳田	103 位 244 点
	関東・女子	神田	9 位 278 点
		原	48 位 183 点
	インカレ	神田	14 位 233 点

フォーミッション定期戦

男子

1968(昭和43)年	明学 2955	上智 2808
	立教 2530	本学 ―
1969(昭和44)年	明学 4292	上智 4158
	立教 4031	本学 4006
1970(昭和45)年	明学 4227	本学 4037
	上智 3999	立教 3741
1971(昭和46)年	明学 4416	上智 4282
	本学 4265	立教 4248
1972(昭和47)年	不明	
1973(昭和48)年	明学 4262	本学 4207
	立教 4167	上智 3849
1974(昭和49)年	立教 4235	明学 4182
	上智 4111	本学 4021
1975(昭和50)年	本学 4379	明学 4276
	立教 4226	上智 4119
1976(昭和51)年	明学 4526	本学 4489
	立教 4293	上智 4178
1977(昭和52)年	明学 4612	本学 4487
	立教 4355	上智 4303
1978(昭和53)年	本学 4713	明学 4653
	立教 4489	上智 4390
1979(昭和54)年	立教 4515	明学 4477
	本学 4430	上智 4167
1980(昭和55)年	明学 4551	本学 4542
	上智 4272	立教 4238
1981(昭和56)年	明学 4850	本学 4681
	立教 4520	上智 4336
1982(昭和57)年	明学 4778	本学 4573
	立教 4171	上智 3698
1983(昭和58)年	明学 4618	本学 4461
	立教 4195	上智 3539
1984(昭和59)年	明学 4324	本学 4323
	立教 4068	上智 3661

1985(昭和60)年　中止
1986(昭和61)年　本学 4393　立教 4366
明学 4361　上智 4322
1987(昭和62)年　明学 4508　立教 4268
本学 4192　上智 4179
1988(昭和63)年　本学 4470　上智 4396
明学 4315　立教 4254
1989(平成元)年　明学 4418　上智 4367
本学 4320　立教 4188
1990(平成２)年　明学 4622　立教 4593
上智 4496　本学 4455
1991(平成３)年　本学 4454　立教 4387
明学 4345　上智 4236
1992(平成４)年　立教 4618　本学 4515
明学 4473　上智 4397
1993(平成５)年　本学２位(記録不明)

（1993 ～ 2010 年までデータなし）

2011(平成23)年　本学 3401　上智 3574
明学 3686　立教 3549
2012(平成24)年　本学 549.2　上智 547.4
明学 582.5　立教 571.3
(Ave.)

女子
1971(昭和46)年　立教 2388　本学 2362
上智 2240　明学 2003
1972(昭和47)年　本学 2490　上智 2189
明学 2147　立教 2102
1973(昭和48)年　明学 2761　立教 2114
上智 2007　本学
1974(昭和49)年　上智 2497　立教 2438
明学 2251　本学 2054
1975(昭和50)年　明学 2330　本学 2188
上智 1983　立教 1979
1976(昭和51)年　本学 2466　立教 2451
上智 2241　明学 2220
1977(昭和52)年　本学 2668　明学 2602
立教 2581　上智 2285
1978(昭和53)年　上智 2633　本学 2546
明学 2474　立教 2352
1979(昭和54)年　本学 2720　明学 2679
上智 2484　立教 2397
1980(昭和55)年　立教 2698　明学 2593
本学 2571　上智 2463
1981(昭和56)年　本学 548.4　立教 530.6
明学 530.2　上智 503.3
1982(昭和57)年　本学 2798　明学 2551
立教 2415　上智 2099
1983(昭和58)年　本学 535.4　明学 530.2
上智 463.3　立教 461.6
1984(昭和59)年　本学 2664　立教 2529
上智 2333　明学 2315
1985(昭和60)年　中止
1986(昭和61)年　明学 2776　立教 2733
上智 2721　本学 2515
1987(昭和62)年　明学 2693　立教 2593
本学 2541　上智 2441
1988(昭和63)年　不明
1989(平成元)年　不明
1990(平成２)年　本学３位
1991(平成３)年　本学４位
1992(平成４)年　明学 2807　立教 2723
上智 2708　本学 2602
1993(平成５)年　本学不参加

（1993 ～ 2010 年までデータなし）

2011(平成23)年　本学 2418　上智 2367
明学 2350　立教 2440
2012(平成24)年　本学 2364　上智 2430
明学 2264　立教 2333

東日本大会

1982 昭和57)年　吉田　631 点
原　617 点
1983(昭和58)年　吉田　573 点
1990(平成２)年　石田　32 位　555 点
1991(平成３)年　石田　16 位　576 点
1993(平成５)年　西村　10 位　640 点
(東西対抗戦出場)

東西対抗戦

1993(平成５)年　西村 1169 点

写　真　集

Photo Memorys

この写真集は、当記念誌刊行にあたり洋弓部OB・OGの皆様よりご提供いただいた過去の貴重なお写真と、創部10周年・20周年・30周年記念誌掲載の写真資料、および現役部員提供の資料を基に構成しております。

1963（昭和 38）年～ 1970（昭和 45）年

1966 ～ 69 年頃　勧誘活動

1966(昭 41) 年　夏合宿

1966(昭 41) 年　夏合宿

1966(昭 41) 年　夏合宿

1966(昭 41) 年　夏合宿

?

1968(昭 43) 年　夏合宿

1969(昭 44) 年　夏合宿

1969(昭 44) 年　夏合宿

1969(昭 44) 年　個人戦

1970(昭 45) 年　小田原風祭、女子春合宿

1970(昭 45) 年小田原風祭、女子春合宿

1971（昭和 46）年～ 1980（昭和 55）年

1971(昭 46) 年リーグ戦開会式

1971(昭 46) 年　夏合宿

1972(昭 45) 年　夏合宿

1972(昭 47) 年　対早稲田戦

1973(昭 48) 年　10 周年　部員

1972（昭 47）年頃　リーグ戦か

1972(昭 47) 年頃　夏合宿

1972(昭 47) 年頃　夏合宿

1972(昭 47) 年頃　夏合宿

1972(昭 47) 年頃　夏合宿

1974(昭 49)年　新射場開き

1974(昭 49)年　新射場開き

1974(昭 49) 年　春合宿

1978(昭 58) 年頃　14 代幹部

1978(昭 53) 年　バス旅行・白糸の滝か

1977(昭 52) 年　追いコン

1978(昭 53) 年　夏合宿、新潟県岩原スキー場・電気屋旅館

1978(昭 53) 年　夏合宿（岩原）

1978(昭 53) 年　夏合宿（岩原）

1978(昭 53) 年　追いコン

1978～81(昭53～56) 年度女子(世田谷キャンパス)

1978 ～ 81(昭 53 ～ 56) 年度　世田谷キャンパスにて

1979(昭 54) 年　新歓旅行

1980(昭 55) 年　リーグ戦

1980(昭 55) 年　追いコン

1980(昭 55) 年　世田谷キャンパス

1980(昭 55) 年　さよなら射会（駒沢競技場）

1980(昭 55) 年度　さよなら射会（駒沢）

1981（昭和56）年～1990（平成２）年

1981～83(昭56～58)年
右上に吉田元コーチ

1982(昭57)年　クリコン（って何？）

1983(昭58)年７月29日
夏合宿　電気屋旅館

1983(昭58)年７月28日　夏合宿

1983～85(昭58～60)年　春合宿（畳屋旅館）

1983(昭58)年７月30日　夏合宿

1983～85(昭58～60)年頃　春合宿弓ヶ浜

1983(昭58)年７月28日　夏合宿

1983～85(昭58～60)年　畳屋旅館

1983 ～ 84(昭 57 ～ 58) 年　世田谷キャンパス

1982 ～ 83(昭 57 ～ 58) 年　世田谷キャンパス射場

1982 ～ 83(昭 57 ～ 58) 年頃　正月？

1984(昭 57) 年　夏合宿　電気屋旅館

1983 ～ 84(昭 57 ～ 58) 年　世田谷キャンパス射場

1983 ～ 84 年　世田谷キャンパス

1984(昭 59) 年　夏合宿か

1984(昭 59) 年　夏合宿

1981(昭 56) 年　夏合宿

1981(昭 56) 年　夏合宿

年不明（東北学院戦か？）

1980 年代　駒沢競技場

1980 年代　駒沢・新人戦

1985(昭 60) 年頃　インカレ

年不明　世田谷キャンパス

1984 ～ 85(昭 59 ～ 60) 年　合宿の一発芸

1984(昭 57) 年　夏合宿か？

1990(平 2) 年　四校新人戦

1985(昭 60) 年 7 月 30 日　夏合宿

1991（平成３）年～2000（平成 12）年

1990 年代　春合宿？

年不明　春合宿？

年不明　青山キャンパス部室

1991(平３) 年　バス旅行

1992(平４) 年　夏合宿

1980 年代　場所不明

1980 年代　場所不明

1992(平４) 年　南伊豆弓ヶ浜　春合宿海水浴

1992(平４) 年　春合宿

1993(平５) 年　30 代幹部

2001（平成 13）年～ 2010（平成 22）年

2002(平 14) 年 9 月　夏合宿

2002(平 14) 年　夏合宿納射会の罰ゲーム
何、この的…。

2003(平 15) 年 3 月　冬合宿　弓ヶ浜

2003(平 15) 年 9 月 6 日　夏合宿

2003(平 15) 年 3 月　冬合宿打ち上げ

2002(平 14) 年　立教大志木キャンパス？

2003(平 15) 年　OB 射会

2004(平 16) 年　夏合宿

2011（平成 23）年～ 2013（平成 25）年

2011(平 23) 年　夏合宿

2011(平 23) 年　夏合宿

2012(平 24) 年　夏合宿

2012 年　青山祭タピオカ！

年不明　練習試合

2012(平 24) 年　相模原祭体験アーチェリー

2012 年　引退試合

2012(平 24) 年　春合宿

2013 (平成 25) 年度　現役部員一同　（於：木島平夏合宿）

編 集 後 記

改めまして青山学院大学体育会洋弓部創部50周年をお祝い申し上げます。

この記念誌の発行は、50周年記念式典事業の要だと思い、自分としてはかなり張り切って臨んだつもりだったのですが、関係者の方々への寄稿依頼とその編集、記録写真、過去の戦績その他の情報収集、そしてそれらの版組までを平時の仕事の合間を縫って行うのは、予想以上に困難を極め、OB会や現役部員を巻き込みかなり式典直前まであたふたとする事態になってしまいました。改めて自身の能力の至らなさと、現役およびOB･OG皆様に多大なご心配、ご迷惑をおかけしてしまったことに、お詫び申し上げる次第です。

また、編集を通して気付いたのは、創部30周年記念誌までは個人戦・定期戦・リーグ戦等の戦績や順位動向が記録されているものの、それ以降のデータが消滅または散逸してしまったらしく、ほとんど手に入らなかったということです。1994年から2006年頃にかけての戦績が軒並み欠如していることでもおわかりいただけるかと思います。現在の部室には、過去戦績記録を一括でファイルしたものなどは見当たらず、あっても、ある年度の中のさらに断片的な情報が残っているのみでした（…実際、2002～2006年度在籍の自分もそういうものを残していた記憶がありません…）。

おそらく、このような事態を早めに想定し、時間をかけて他大学の洋弓部や学連に問い合わせ、またOB･OGの方々にご連絡して、個人的にお持ちになっているメモ・記録の類まで悉皆（しっかい）的に調査・集約していれば、もう少しこの空白期間を埋めることが出来たかもしれないと思います。

ただ逆に考えると、この50周年記念式典を企画したために、過去戦績データの散逸という事態が明るみになったともいえます。今後､60周年（55周年でもいいです）､70周年と、創部を祝う節目が来る以上、過去のデータがますます希薄になっていかないよう、これからの現役部員の皆さんには、データを部内で管理し､部室に集積していくことを強くお願いしたいと思います（自分が失敗しておいてなんですが…）。そして、半世紀以上におよぶ部の歴史を、永く残していきましょう。

最後となりましたが、記念祝辞の御寄稿、また貴重なお写真・諸記録をご提供いただきました皆様、並びに諸先生・諸先輩方へ、心より御礼申し上げます。

（編集担当　　長友　信）

写真資料提供者（敬称略）
白鳥徹男 (1972 卒)・石川昌孝 (1978 卒)・内藤泰宏 (1984 卒)・髙木美香 (1986 卒)
柴田佳延 (1999 卒)・徳永　健 (1994 卒)・現役部員一同

創部 50 周年記念式典実行委員会
実行委員長：髙橋昭夫 (1972 卒)
実行委員：向井眞一 (1983 卒)・内藤泰宏 (1984 卒)・市田友広 (1997 卒)
長友　信 (2006 卒)・富澤良平 (2011 卒)
準備協力：木村義昭 (1980 卒)

青山学院大学体育連合会体育会洋弓部創部 50 周年記念

発　行　日　2013(平成 25) 年 11 月 9 日
編集・発行　青山学院大学体育会洋弓部　創部 50 周年記念式典実行委員会
〒 150 － 8366　東京都渋谷区渋谷４－４－２５
印　　刷　株式会社プリントパック